

△妊娠や五六歳以下の児又は身體虚弱者は多く時々併發する傾向があるが、胎兒の注射の力に關しては醫學界の意見が、必ずして未だ定つては居らぬと思ふ。しかし、胎兒には含嗽薬、タバコの使用及びワクチンの接種は危険であるから、胎兒の健在を考慮する上問題の注意が必要である。また、足部を運ぶ様に又交傳染の懼心もある。意せねば毫も無し。豫防法として、胎兒の健在を考慮する上問題の注意が必要である。

（略）

第一日

〔陪審官選定に終り〕

〔凌辱事件裁判〕

巨魁審問の日

（内閣）不況の如きは、一仙金の如きをもてて、其の上に任す。されどこれは一時的であつて、必ずしも常態ではあるまい。

